

日本応用藻類学会主催  
日本応用藻類学会第16回大会  
プログラム

1. 開催日 2017年5月27日(土) 10:00~17:30

2. 会場 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学 楽水会館大会議室

3. 日程

9:30~ 受付開始

10:00~12:15 口頭発表

13:00~13:30 口頭発表

13:30~13:55 ポスター発表

14:00~16:30 企画シンポジウム

16:30~17:30 総会

17:45~19:45 懇親会(大学会館生協食堂)

# 日本応用藻類学会第 16 回大会企画シンポジウム

## 「岡村金太郎先生 生誕 150 周年記念・ 新たな藻場像の構築と海藻資源の持続的な利用」

趣旨：IPCC 第 5 次評価報告書（AR5）（2014）が示すように地球温暖化に連動した海水温の上昇、海洋酸性化など、海洋環境が変化する中で、海洋生物資源の持続的な利用、維持管理、開発が必須となっている。そして、応用藻類学の分野においては、特に、大型海藻や海草に注目するとき、生物多様性を保全し生態系機能を維持した藻場の利用、維持管理、開発に関する基盤技術の創出が強く求められている。

日本における応用藻類学の創始者であり、藻場の生物学的な調査・研究と海苔養殖の技術開発に貢献した、岡村金太郎先生（1867-1935）生誕 150 周年を記念し、藻場研究の最前線から、地球温暖化の藻場への影響、藻場の生態系サービス機能、藻場の生態学的な考え方とその機能利用について、講演と論議をもって、新たな藻場像の構築と海藻資源の持続的な利用のための研究開発と基盤技術の創出のための提言をおこなうことを目的にシンポジウムを企画した。

（企画責任者：宮田昌彦・能登谷正浩）

### プログラム

- 14:00～14:15 S01 [趣旨説明]・[岡村金太郎先生（1867-1935）]  
：宮田昌彦（千葉県立中央博物館）・能登谷正浩（東京海洋大学名誉教授）
- 14:20～14:50 S02 [地球温暖化と藻場]  
：熊谷直喜（国立研究開発法人国立環境研究所・生物-生態系環境研究センター）
- 14:55～15:25 S03 [藻場と生態系サービス]  
：堀正和（国立研究開発法人水産研究・教育機構・瀬戸内海区水産研究所）
- 15:30～16:00 S04 [藻場の生態学的な考え方とその機能利用]  
：能登谷正浩（東京海洋大学名誉教授）
- 16:05～16:30 S05 [総合討論：新たな藻場像の構築と海藻資源の持続的な利用]  
コーディネーター：能登谷正浩・宮田昌彦  
パネリスト：熊谷直喜（国立環境研究所）（藻場）  
四ツ倉典滋（北海道大学）（コンブ場）  
倉島彰（三重大学）（アラメ・カジメ場）  
寺田竜太（鹿児島大学）（ガラモ場）  
堀正和（瀬戸内海区水産研究所）（アマモ場）

## 口頭研究発表・午前（10:00～12:15）

- 10:00 A01 瀬戸内海・広島湾の近年の環境変化とグリーンタイトの消長  
○吉田吾郎\*・島袋寛盛\*・平岡雅規\*\*（\*水産機構・瀬戸内水研，\*\*高知大学）
- 10:15 A02 スジアオノリ陸上養殖のための組織培養を用いた種苗生産  
○喜多郁弥\*・團昭紀\*\*・岡直宏\*\*・浜野龍夫\*\*（\*徳島大院・総合科学教育部，\*\*徳島大院・社会産業理工学研究部）
- 10:30 A03 徳島県鳴門市沿岸の築堤式施設水門部に自然成立した全長 3m を超えるヒジキ群落  
○棚田教生\*・寺脇利信\*\*・島袋寛盛\*\*\*・吉田吾郎\*\*\*（\*徳島県水研，\*\*シャトー一海洋調査，\*\*\*瀬戸内海区水研）
- 10:45 A04 再生されたガラモ場がウニ類に与えた影響  
○細木信吾\*・田井野清也\*\*・林芳弘\*\*\*・早淵利治\*\*\*\*（\*有限会社エコシステム，\*\*高知県漁業振興課，\*\*\*高知県水試，\*\*\*\*久通地区磯焼け対策部会）
- 11:00 A05 海藻ジャンケンの遊び方 -海藻体感プログラム-  
田中幸記（高知大学）
- 11:15 A06 ワカメ配偶体のフコキサンチン産生に対する水温の影響  
○岡直宏\*・今井洋斗\*\*・齋藤稔\*・團昭紀\*・棚田教生\*\*\*\*・浜野龍夫\*（\*徳大院・社会産業理工学研究部，\*\*徳大院・総合科学部，\*\*\*\*徳島県水研）
- 11:30 A07 紅藻ダルス色調の優れた加熱安定性の機序解明に関する研究  
○木下康宣・斉藤美帆（北海道立工業技術センター）
- 11:45 A08 ワカメ成分による糖代謝促進機構の検討  
○今井基貴\*・川上文貴\*・吉永恵子\*\*・加原卓\*\*・丸山弘子\*（\*北里大・院・医療研究，\*\*理研ビタミン株式会社）
- 12:00 A09 海藻バイオマスを利用した水素生産の課題  
○谷生重晴・長谷川幸教・林俊宏（バイオ水素(株)）

## 昼休み（12:15～13:00）

## 口頭研究発表・午後（13:00～13:30）

- 13:00 A10 インドール3酢酸の紅藻類オゴノリ科海藻成長への影響  
○垣田浩孝\*・小比賀秀樹\*\*（\*日大・文理，\*\*産総研・健康工学）
- 13:15 A11 PAMによるスサビノリの栄養塩制限の診断  
○長谷川夏樹\*・渡部諭史\*・石樋由香\*・清水康弘\*\*・山田大貴\*\*・畑直亜\*\*・岩出将英\*\*（\*水産機構・増養殖研，\*\*三重水研）

## ポスター研究発表（13:30～13:55）

- P01 島根県宍道湖に生育するシオグサ類の季節的消長  
○原口展子・國井秀伸（島根大エスチュアリー研究センター）
- P02 Culture Studies of *Eisenia bicyclis* in Gametophyte and Young Sporophyte Phase  
Nam-Gil Kim<sup>o</sup> and Min-Jeong Lee (Gyeongsang National University, Korea)
- P03 有用海藻 *Agardhiella subulata* の生長性とその利用について  
○岡直宏\*・齋藤稔\*・團昭紀\*・佐藤陽一\*\*・中西達也\*\*\*・浜野龍夫\*  
（\*徳大院・社会産業理工学研究部，\*\*理研食品（株），\*\*\*徳島県水研）
- P04 海藻バイオマス水素生産の経済性試算と海藻品種改良の課題  
○谷生重晴・長谷川幸教・林俊宏（バイオ水素（株））
- P05 アルギン酸人工餌料のレオロジー的開発  
○田代有里\*・七原真規子\*\*・小川廣男\*\*（\*京都府立大学，\*\*東京海洋大学）
- P06 ヒトエグサ及びミル由来脂溶性成分による鶏胚漿尿膜上血管新生の抑制  
○芦野洋美\*・向井克之\*\*・中島宏\*\*\*・横浜康継\*\*\*\*（\*千葉大・院・医学，\*\*（株）ダイセル，\*\*\*（一財）国際伝統医学教育研究振興機構・上海中医薬大・日本校，\*\*\*\*元 筑波大・下田臨海セ）
- P07 マコンブ摂取による食事性肥満マウスの血糖値に及ぼす影響  
○高頭七生\*・平野友香\*・菅原菜央\*・蛭田朝美\*・今井基貴\*\*・川上文貴\*\*・丸山弘子\*\*  
（\*北里大・医療衛生，\*\*北里大・院・医療研究）